

先進医療B「自家骨髄単核球移植による血管再生治療」の定期報告について

1. 経緯

- 先進医療B 告示番号 32 番「自家骨髄単核球移植による血管再生治療」（適応症：全身性強皮症（難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る。）、申請医療機関：横浜市立大学附属病院）については、第 98 回先進医療会議（令和 3 年 4 月 9 日）で承認され、令和 3 年 7 月 1 日から告示適用されている。
- 承認にあたり、申請医療機関である横浜市立大学附属病院に対し、当該技術の適応や併用薬に関する情報について、年度毎の定期的な報告を求めることとされた。（なお、令和 4 年度及び令和 6 年度は、登録症例がなかったため報告がなかった。）
- 今般、新規に登録された症例について、医療機関より報告があった。

2. 報告の概要

- 登録症例数：2 例

登録番号	1	2（新規の登録）
登録年月日	2022 年 11 月 13 日	2025 年 5 月 8 日
性別	女性	女性
自己抗体	抗セントロメア抗体	抗 Scl-70 抗体
血管拡張薬等の 期間内の使用	ベラプロストラ ニフェジピン ユベラ	リマプロストアルファデクス ボセンタン サルポグレラート塩酸塩 トコフェロールニコチン酸エステル
血管拡張薬等の 過去使用歴	ボセンタン アルプロスタジル	アルプロスタジル リマプロストアルファデクス ボセンタン サルポグレラート塩酸塩 トコフェロールニコチン酸エステル

ステロイド又は 免疫抑制薬の 期間内の使用	なし	プレドニゾン
ステロイド又は 免疫抑制薬の 過去使用歴	なし	プレドニゾン

3. 今後の対応について

- 以上を踏まえ、本技術を継続して問題がないかご確認いただきたい。